

広域連合だより

構成団体 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

【第29号】
平成27年3月発行
日向東臼杵広域連合
〒883-0034
日向市大字富高2192
TEL(0982)53-3401
FAX(0982)52-7889
http://hyuga-kouiki.jp/

清掃センター改良工事が完了

清掃センター焼却施設の老朽化にともない、平成22年度から実施していましたが平成27年3月末でようやく完了しました。

総事業費は約9億8,000万円。5カ年に及ぶ大規模な工事でしたが、これにより、清掃センターを、さらに長く使用することができるようになります。

ごみの焼却処理能力も、清掃センター建設当初の1日当たり160t(80t×2炉)を回復するとともに、焼却炉内のストーカを一部水冷式に改良したことにより、CO₂の排出量が抑制され、地球温暖化防止に貢献します。

(単位：千円)

年度	第1期工事	第2期工事	第3期工事
項目	22年度～23年度	24年度～25年度	26年度
工事費	346,925	437,650	199,800
工事内容	ストーカ油圧装置改良工事 ガス冷却室耐火物改良工事 1号空冷式減温装置改良工事 1号空冷式減温送風機改良工事 1号空冷式減温装置下コンベア改良工事 空気予熱器改良工事 温水発生器改良工事 2号主灰出しコンベア改良工事 灰分散機改良工事 建屋屋根改良工事	バグフィルタ改良工事 2号空冷式減温装置改良工事 2号空冷式減温送風機改良工事 2号空冷式減温装置下コンベア改良工事 混練機改良工事 建屋屋根改良工事	ストーカ改良工事 サイドウォール改良工事



ストーカ油圧装置



バグフィルタ



ストーカ循環水冷却ポンプ

ごぞんじですか？ けむりの正体・・・

煙突から出ているけむり（排ガス）の正体は「湯気（ゆげ）」です。写真のように白く見える日とあまり見えない日がありますが、これは季節や天候により変化します。排ガス（湯気）は、ごみを燃やした後の空気なので通常より二酸化炭素が多く含まれますが、空気とほとんど同じです。気になるダイオキシン類の濃度も基準値内の数値となっています。ダイオキシン類等の測定結果は次のとおりです。



平成 26 年度 清掃センター

ダイオキシン類測定分析結果

測定日：平成 27 年 1 月 9 日（1 号炉）

平成 27 年 2 月 3 日（2 号炉）

物質名	ダイオキシン類			一酸化炭素濃度	ばいじん濃度	塩化水素濃度
	排ガス	飛灰	焼却灰			
単位	ng-TEQ/m ³ N	ng-TEQ/g	ng-TEQ/g	ppm	g/m ³ N	mg/m ³ N
1号炉	0.013	1.2	0.00071	10未満	0.005未満	30未満
2号炉	0.023	0.4	0.0023	10未満	0.013	34.0
基準値	5	3	3	100	0	700

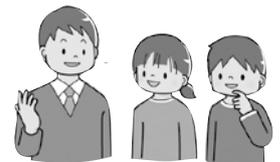
※ng（ナノグラム）とは 10 億分の 1 g のことです。

※m³N（立法メートルノルマル）とは、温度が 0℃、圧力が 1 気圧の状態に換算した 1 m³ を表します。

※TEQ（ティーイーキュー）とは毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位です。

清掃センターへようこそ

平成 26 年度は 570 名の方が見学・体験学習に訪れました。
ありがとうございました。



見学された皆さん

学校・団体名	人数
株式会社興電舎	6
日向市新入職員	14
いきいきサロン	20
日向市立財光寺小学校	78
門川町立草川小学校	50
日向市立富高小学校	86
小中学校教職員初任者研修	10
美郷町立美郷南学園	13
美郷町立田代小学校	27
諸塚村内小学校4年生	20
日向市立財光寺南小学校	73
門川町立五十鈴小学校	45
日向市立日知屋東小学校	109
有明広域行政事務組合	5

職場体験学習

学校・団体名	人数
日向市立財光寺中学校	3
日向市立日向中学校	3
日向市立富島中学校	2
日向市立大王谷学園中等部	2
日向工業高等学校	4

清掃センターでは施設見学を随時受け入れています。
ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

- 見学内容 ごみの現状や処理の工程説明、施設見学
- 所要時間 1 時間程度
- 申し込み 電話で、日時、団体名等をご連絡下さい。
受付後、見学申請書を送付します。

☎ 53-3401

平成26年第3回定例会

平成26年11月11日に開催されました。

平成25年度歳入歳出決算

平成25年度決算は歳入が、8億2千246万4千円、歳出が、7億9千759万6千円、歳入歳出差引額は、2千486万8千円となりました。

公平委員会委員の選任について

公平委員会委員には黒木久遠（日向市公平委員会委員）さんが再任されました。

平成26年度補正予算

地元振興策として、本谷地区にある運動広場を整備します。
 整備の内容は広場整地、側溝整備、トイレ設置等です。委託料：47万円、工事請負費：1千141万5千円。

審議した議案とその結果

- 平成25年度歳入歳出決算 **【原案通り認定】**
- 公平委員会委員の選任について **【原案通り同意】**
- 平成26年度補正予算（第1号） **【原案通り可決】**

一般質問

荻原紘一議員（日向市選出）

問 東郷霊苑と周辺の交通安全対策について―出入り口の実情と対策―

答 取り付け道路の幅員を15・5m確保し、車両の出入りに支障のないよう配慮している。

また、見通しをよくするため樹木を一部撤去し、安全対策を講じている。出入り口付近の消えかけている側線・停止線については直ちに対応したい。

平成25年度広域連合決算

平成25年度は、歳入総額822,464千円、歳出総額797,596千円でした。実質収支は、24,868千円の黒字決算でした。このうち、1,250万円を基金に積み立てました。

■主な事業

◎斎場施設費

- ・火葬設備C系熱交換器取替工事 5,197,500円
- ・火葬設備C系誘引排風機整備工事 997,500円

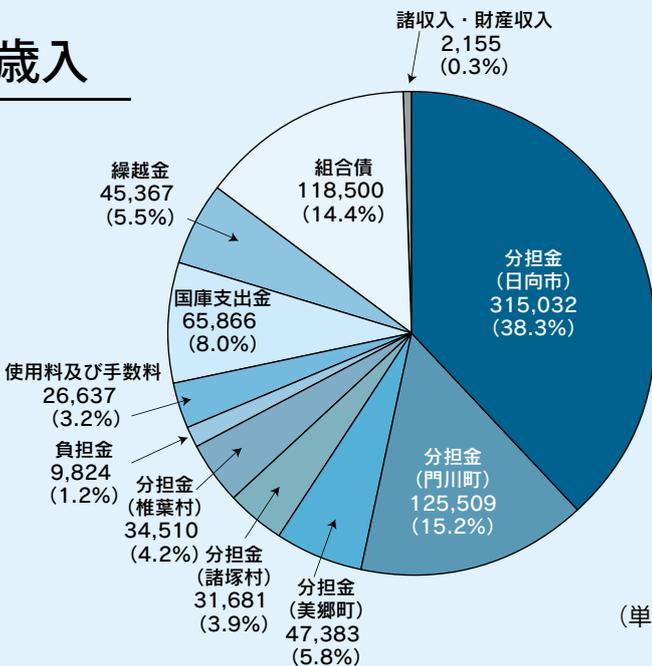
◎廃棄物処理施設基幹的設備改良事業

- ・日向東白杵南部広域連合清掃センター長寿命化工事（第2期） 95,599,000円
- ・清掃センター焼却炉内耐火物改修工事 24,110,100円
- ・清掃センターごみクレーン改良工事 11,014,500円

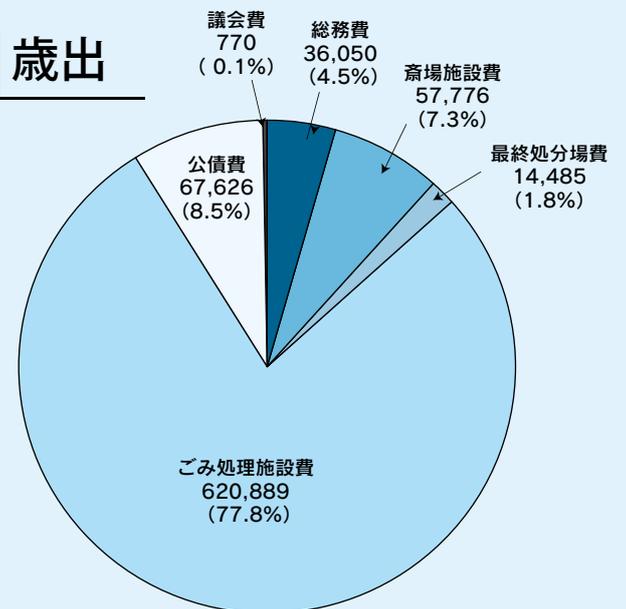
◎ごみ処理広域化事業

- ・ごみ処理広域化推進協議会の開催 3回
- ・バイオマス資源堆肥化方式選定業務委託 4,683,000円

歳入



歳出



(単位：千円)

平成27年第1回定例会

平成27年2月16日に開催されました。

平成27年度当初予算

予算総額は、5億6千500万円で、前年度当初予算と比較して1億5千500万円（率にして21・5%）減少しました。

これは、平成22年度から施工した清掃センター基幹的設備改良事業が平成26年度末で完了することに伴うものです。予算内容については下欄から次ページに掲載しています。

一般質問

荻原紘一議員（日向市選出）

問 広域連合のあり方の基本と、改善・充実について

構成市町村の立場を尊重し、関係住民の意向に依る自治体の協力・共同を強めることが何より重要だと考えるかがいかか。

答 広域連合の第三次広域計画において、運営協議体制の充実、構成団体や関係機関との連携の充実を、基本方針のひとつとして掲げていることから、この方針に沿った取り組みを行ってきている。

構成市町村が抱える事情と、広域行

政としての一体的な事業の推進とを、どのように調整していくか、が広域連合の今後の課題である。

問 事務局体制の充実

答 広域連合の事務の執行については、現在の事務局体制で十分機能していると考えている。今後、新たな共同処理事務が加わるような場合には、必要な体制整備を検討していきたい。

問 業務委託の在り方

答 各種の業務を委託する際は、広域行政としての機能性、効率性を効果的に発揮することができるよう留意して委託している。今後も、年次的に事業の検証と評価を行い、適切な業務委託に努めていきたい。

問 住民の意向調査と分かりやすい情報伝達を重視することの必要性

答 平成24年度の実例として、ごみ処理及び資源化に関するアンケート調査を、圏域住民を対象に実施し、意識の把握を行った。今後も、必要に応じて調査等を実施していきたい。

また、広域連合が行っている事業について、適切な情報の発信を図ってきたい。

審議した議案とその結果

○平成27年度当初予算

【原案通り可決】

予算

平成27年度 は5億6,500万円

- 次期広域計画・東郷霊苑管理運営中期計画を策定します。
- ごみ処理分別品目の統一化を目指します。

平成27年度の主な施策

<一般管理事務>

■ 広域計画の改定

第三次広域計画(計画期間:平成23年度～27年度)終了後の次期広域計画の策定に取り組みます。

■ 啓発の充実

平成26年度に一新したホームページ、広報誌を活用した啓発活動を行います。

<火葬場事務>

■ 施設設備の適切な維持管理

バグフィルター取替え工事等を行い、安全で安定した機能維持により適切な管理運営を行います。

■ 「東郷霊苑管理運営中期計画」の改定

平成22年度に策定した中期計画が、平成27年度で終了するため、27年度中に次期中期計画を策定します。

<最終処分場事務>

■ 次期最終処分場整備計画

暫定的に定めた次期最終処分場候補地の、今後の整備計画について検討します。

■ 最終処分場事務の検討

現在、最終処分場の共同処理事務の構成団体とはなっていない日向市の、共同処理事務への参加について、日向市と共に検討します。



<ごみ処理施設事務>

■ ごみ処理基本計画に基づいた事業の推進

広域連合ごみ処理基本計画(計画期間:平成22年度~36年度)に沿った事業を推進します。

(1) 施設設備の適切な維持管理

清掃センター基幹的設備改良事業完了後の、施設設備の計画的維持管理を、長寿命化計画に沿って実施します。

(2) 効率的な運転管理

ごみ搬入量の減少傾向に対応した効率的、効果的な焼却処理に努めます。

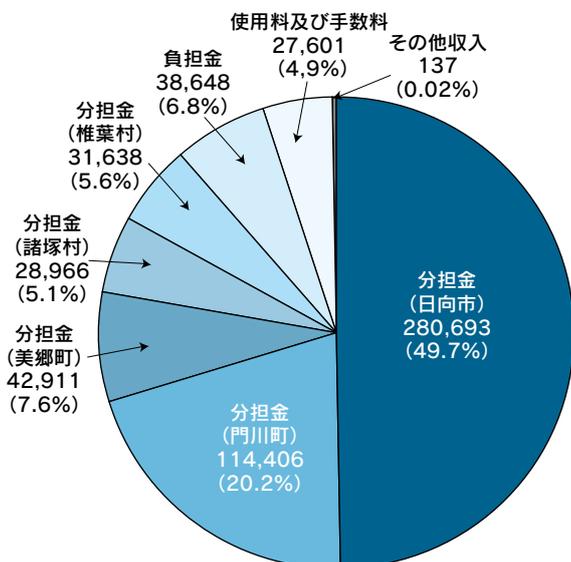
(3) 減量化、資源化の推進

構成市町村内の分別品目の統一化を進めます。(主にプラスチック製容器包装)

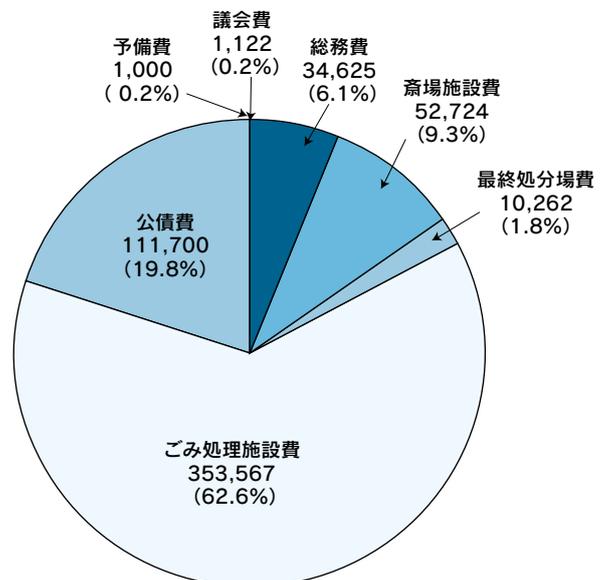
(4) 処理体制の統一化の検討

効率性の観点から、広域的処理が望ましい事務処理、事業について統一化の可能性を検討します。

歳入



歳出



(単位:千円)

特集 ごみ処理の現状と課題について学ぼう！

その8

日向入郷圏域のごみ処理の現状と課題について、シリーズでお伝えしています。
今回は、圏域のプラスチック製容器包装の分別収集についてお知らせします。

広域連合では、平成25年度から、広域化による効率的なごみ処理の実現に向けて協議を行ってきました。

協議の結果、資源物については日向市の分別内容に統一する方向性を決めました。当面は、プラスチック製容器包装の分別収集に優先的に取り組みます。

門川町では、平成26年4月から町内全地区で分別収集を開始しているほか、美郷町と椎葉村では、10月からモデル地区において分別収集を始めています。

諸塚村では平成27年4月からモデル地区で実施予定です。

清掃センターへのごみの搬入量は平成17年度以降減少を続けています。これは構成団体の協力と圏域住民皆さんの意識の高さが生み出した成果だと言えます。

これからもごみ減量化へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



日向地区斎場東郷霊苑からのお知らせ

副葬品として制限されるもの

ダイオキシン類などの発生源となるもの



ビニール製品（バッグ・靴・玩具など）
化学合成繊維製品（衣類・寝具・敷物など）
発泡スチロール製品（枕・緩衝材など）
その他の製品（CD類・ゴルフボールなど）

火葬炉設備の故障の原因となるもの



カーボン製品（杖・釣竿・ゴルフクラブなど）
コイン類（硬貨・メダルなど）

可燃物であっても火葬の妨げになる燃えにくいもの



果物（スイカ・メロンなどの大きな果物）
書籍（辞書・アルバムなど厚みがある書物）
繊維製品（多くの衣類、大きなぬいぐるみなど）

ご遺骨損傷の原因となるもの



金属製品（携帯電話・携帯音楽プレイヤーなど）
ガラス製品（酒瓶・鏡・食器類など）
爆発物（缶・スプレー・ライター・電池類など）

※ドライアイスは不完全燃焼の原因となりますので、棺の中から取り出してください。

◎納棺時の副葬品についてはのお願い
ダイオキシン類の発生やご遺骨の損傷を防ぐため、棺の中に入れる副葬品の自粛にご協力をお願いします。
なお、ペースメーカーを装着されている場合は、火葬中突然破裂し、斎場職員の負傷の原因となりますので、事前にお知らせください。



東郷霊苑出入り口道路の側線・停止線

引き直しました

【編集後記】

広域連合事務局の職員体制をご存知ですか？

現在は、日向市から7名、門川町から1名の派遣職員及び再任用職員1名の体制となっています。

門川町から派遣され1年が過ぎますが、新しい上司、先輩に困まれ、日々楽しく仕事に取り組むことができています。

広域連合での出会いを大切にしたいと思ってます。

春は別れと出会いの季節です。
「一期一会」を大切にしましょう。(S)